



浦島伝説

令和5年 2月28日

第 38 号

進学を目前にした3年生へ

いよいよ3年生は、3月7日（火）・8日（水）公立高校一般入試、10日（金）卒業式です。入試（進学）を目前にした3年生のみなさんに、毎年、2つのエールを送っています。これで6年目になります。

まず、数年前に大手の学習塾が作成したもので、新聞広告として掲載されたものです。どんなに競争率が高くても、どんなに隣の人が気になっても、最後は自分自身との勝負です。プレッシャーに打ち勝ってこそ、夢をその手でつかむことができるのです。輝ける場所に向かって全力疾走してきたゴールは、目の前にあります。

ライバルは、たった一人。自分だ。

受験生の皆さん。

そして離れて見守る保護者の皆さん。

いよいよ、この日がやってきました。

もうすぐ試験が始まるうとしていいる今、

あなたはどんな顔をしていますか。

ひよつとしたら鏡の中には、

いつもと違う自分がいるかもしれません。

その「いつもと違う自分」こそが、

今日のあなたの最大のライバルです。

ひとつ深呼吸して、それから笑って、

そいつを吹き飛ばしてやりましょう。

あなたはこれから、

抱いてきた夢のとびらを開けるのです。

怯むこともない。気負うこともない。

その瞬間にできることのすべてを

思う存分、答案用紙にぶつけてくればよい。

さあ、いつもの通り出かけましょう。

夢をその手でつかむために。

（河合塾）



次は、数年前ある会社の新聞広告として掲載されていた詩です。タイトルは「夢を本気で信じたことはあるか？」です。元サッカー日本代表の岡田監督の写真とともに載っていたものです。公立高校一般入試を間近に控えた3年生にとっては、まさに「ここが分かれ道。ここで投げ出すか、踏ん張れるか」です。

夢を本気で信じたことはあるか？

夢や目標を本気でめざすと、すべてが変わる。

運は誰にでも流れている。

それをつかむか、つかまないかだ。

明日死ぬと思つて今やれることをやり尽くす。

それでダメなら仕方ない。

その開き直りが自信につながる。

ここまでダッシュと思つたら、

最後まで全力で走る。

1m手前で力を抜いたせいで負けることもある。

プレッシャーは重力のようなもの。

重力がないと筋肉も骨もダメになる。

重力があるから自分が強くなる。

人にどう思われてもいい。

日本中の人に批判されてもいい。

最後に家族が信じてくれればそれでいい。

スランプや失敗が続いても、

調子がよかつた過去を振り返つてはいけない。

今つまづいているのは、

もつと高い場所に行こうとしているからだ。

本当にどうしようもない状況に陥つたら、こう思う。

ここが分かれ道だと。

ここで投げ出すか、踏ん張れるかだ。

どん底に落ちてはじめて気づくこともある。

危ない危ないと言つてリスクを避けてばかりの社会は

人の生き方を弱めている。

夢なんてなんだっていい。

どんなに小さなことだっていい。

その一歩で、また次の夢が見えてくる。

まずは一歩を踏み出すことだ。

（高橋書店）

